

【感情労働論演習（外見と装飾の演出）について】

田中慶子

（重要事項）

- ・ 後期火曜 2 限に行う。
- ・ 過去に「感情労働論演習（外見と装飾の演出）」で単位を取っている人は履修できないので注意すること。
- ・ テキストは授業内で指示する。
- ・ シラバスと演習内容に変更が伴う可能性があるので注意すること。

（演習内容）

- ・ 感情労働論演習では、感情労働に関連するテキストをもとに、労働現場における労働者の感情のあり方・消費者の感情のあり方について捉えることを目指す。内容としてはテキストのレジュメ発表、ディスカッションとなる。

（E X：接客する/されるのが苦手という人が何故いるのか等）

参考となるものとして、『どんなムチャぶりにも、いつも笑顔で?!——日

雇い派遣イベントコンパニオンという労働』（田中慶子）が挙げられる。

・本演習は基本的に履修者によるディスカッション（各自の考え方を共有するとともに各自の考えや捉え方について思考すること）に重きを置いているため、演習内では意見が求められる。

* 質問がある場合は、ketanaka@shudo-u.ac.jp（田中）へ連絡下さい。

以上